



あいのわ福祉会

# Ayase River Times

みんなで 「ほっと、いっしょに、いきいきと」  
～安心・信頼を大切に 共に考え・学び お互いの自己実現を目指します～

## < 施設長より >

年度が変わり「個別支援計画」の仕切り直しが行われている。

個別支援計画というものは、利用者さん本人の「将来の願い、望む生活」を見据え、どのような支援があれば本人の望む生活ができるのかを考え、その支援内容を具体化していくものである。何ができないかという発想のものではない。

先日、施設全体ケースカンファレンスで重度の利用者さんご本人の「将来の願い、望む生活」について議論した。障がいの程度によっては会話で、はっきりと意思表示ができない利用者さんが多いため「願い」はこれだと断定するのは難しい場合が多い。

最も大切な本人の願いの設定という支援計画の入り口からすでに大きな壁に当たるのだ。

支援職員は、専門職としての価値観や経験をベースに、日頃の利用者さんとの関わりから意志を感じ取り、利用者さんの「願い」を汲み取らなければならないということだ。

議論すればするほど、職員は皆、ちょっと腰が引けぎみである。利用者の自己決定を重視しなければならぬが支援する施設側の意識や価値観が大きく影響することは確かだ。支援側のしつかりとした使命感の確立が不可欠である。

「健常な自分たちと願っている生活は変わらないのではないだろうか。自分達はどう？」そう言う若い職員が言った。「将来、願う生活、自分は改めては何もない。」と。一同無言。多分他の職員も即答できない思いなのだと感じた。皆自分のことも考えていないのにそろって他人の望む生活を考えなければいけない。困った。一同責任重大な職業だったと改めて実感。

若い職員が言った「将来、願う生活は改めては何もない。」は、なぜなのか。考えてみた。

安易な解釈ではあるが、困っていないから願いがないのかもしれない。

私たちの生活、朝起きてトイレに行ってご飯を食べて、電車に乗って職場に行って仕事して、人と関わり、笑ったり失敗したり怒ったり仕事の帰りにお買い物したり、デートしたり、おいしいもの食べたり、映画みたり、飲みに行ったり、夜中にお風呂に入ったりの毎日。友人と会ったり、旅行したり、恋をしたりという特別の時もある。お金がえらく必要なこと以外何でもできそう。そして自分たちが

当たり前になっている毎日の殆どが利用屋さんひとりではできない。家の中の入浴さえ自分で時を選べない。利用者さんにとって、この当たり前レベルの生活の実現難度はかなり高い。

生活の殆どに介助が必要である方々の場合、現状では本人の願いは「今の家庭での生活を続けていきたい。」という消極的とも思われる無難な願いが大方の「願い」の落ち着き先になる。

しかし、ご家族の高齢化でここまで欲のない「願い」の達成も今や困難な状況である。

話し合いの途中「私の願いは、身体のどこも痛くなくて、おいしいものが食べられて、好きなことして、言って、そして友達とけらけら笑いたい。それにたまには友達と旅行したり、ときめいたり…」と言ったら空気がひんやりとした。空気が読めたので私は黙った。 (太田 記)

## < 事務室より >

事務室では、ゴールデンウィーク明け内部、外部監査を終え、ホッとしているところです。最近感じるのですが～草花がとてもきれいに見えるんです♪自転車で通っている私は、通勤路の3分の2は東綾瀬公園を走っています。特に今年の春は、桜の花の色が濃く咲いている期間も長かったので、毎朝お花見気分が最高でした!!今は花水木がきれいに咲いています。先日友達が「ねえねえ、道路脇のつつじってあんなにきれいだったっけ?!」と同じようなことを言っていました～子供が大きくなって生活に余裕?!それとも。。歳をとったんですかねえ(〜;)さて、園では屋上の草花が太陽の光をいっぱい浴びてきれいに咲いています。お近くにお出かけの際は、是非綾瀬あかしあ園屋上にお立ち寄り下さい!!! (高原 記)

## < 保健室より >

牛久からの通勤電車の車窓から、田植えが済んで水を張った田んぼが一斉に見られるようになりました。秋田の田舎で家の後ろは一面田んぼ!!という中で育った私には何とも心なごむ風景です。

新型のインフルエンザが関東に上陸するのも時間の問題だろうと言われています。幸いにも通常のインフルエンザと同様の対応でよさそうだと言われています。私達に出来ることは、手洗い・うがい・マスク着用、そして体力を温存して免疫力を低下させないこと、冷静に油断せず新緑を愛でるぐらいの余裕をもって対処していきたいものです。

(宇野 記)

## < 2F にこにこグループより >

どんどん暑くなってきましたね！これからさらに暑くなっていきますが、皆さん頑張っていきましょう！！

さて、新年度がはじまって早1ヶ月。にこにこグループでは、グリーンプロジェクトだけではなく、音楽や創作、感覚、リラクゼーションなど、毎日充実した取り組みをしています。また、利用者、職員含めいつも元気いっぱい過ごしています。今月から、小外出も始まるので、楽しみがいっぱいです！！

(大場 記)

## < 3F ゆいま〜るグループより >

新しいメンバーになって1か月半。みんなが少しずつ新しいゆいま〜るグループに慣れてきている感じです。

月曜日の芸術文化活動と水曜日の陶芸では園祭に向けて商品を作成中。音楽活動では3チームに分かれて替え歌づくりで面白さを競い、レクリエーションでは全体行事の風船バレー大会に向けて猛練習を行いました。ゆいま〜るグループは負けず嫌いぞろいですから、勝負事にはいつでも本気です！！

5月下旬からは小外出。最近は暑かったり寒かったりわがままな天気が続いていますが、外出の日はカラッと晴れた暑すぎず、寒すぎずの外出日和になることを祈っています。

(草野 記)

## < 4F グループより >

先日、10月に予定している宿泊先の下見に支援員2名が出かけてきました。事前に見てほしいところをみんなに聞いてみると、「好みのゲームがあるか」、「乗馬ができるか」、「苦手な動物がいまいか」などと、様々な意見があがってきました。みんなそれぞれに興味のあるポイントは違うようで、宿泊行事の楽しみ方も様々なんだなと発見！！

今からみんなとても楽しみにしています。準備期間を含めて、色々な話で盛り上がりながら楽しい宿泊行事にできたらと思います♪

(神宮司 記)

## < 全体行事より >

5月14日に、第1回全体行事「いざしょうぶ?! 春の風船バレーボール大会」が行なわれました。にこにこグループ、ゆいま〜るグループ、4階グループが、「うさぎチーム」「チーム老眼鏡」「サインはVチーム」「プリンセス&イケメンチーム」に分かれて試合を行ないました。

グループの皆さんだけではなく、支援員も優勝を目指して必死です！白熱した試合の結果、優勝したのは…「プリンセス&イケメンチーム」でした！！おめでとうございます！

1回戦で負けてしまったかたも、決勝戦を一生懸命応援していました。勝って喜んだかた、負けて悔しい思いをしたかたもいると思いますが、こうやって全員が集まって楽しめることが出来たことが良かったと感じています。綾瀬あかしあ園がひとつになった瞬間だと思えます。今後もいろいろな行事を考えていくので、楽しみにしててください！ (相田 記)

### 今月のボランティアさん

ボランティアの皆様、いつもありがとうございます！

さて、今月のボランティアさんは何人？

**4月22日～5月19日まで… 延べ6人!!!**

綾瀬あかしあ園では、日常的な活動をお手伝いいただけるボランティアを常時募集しております。詳細については地域ボランティア担当阿部・清水・高城宛にお電話ください。 (地域ボランティア担当一同 記)

## ☆ 6月の予定 ☆

6月25日 全体保護者会

6月30日 レインボー

## < 編集後記 >

4月から2階に配属になりました相田麻衣です。初めての事だらけですが、毎日、皆さんから笑顔を頂いています。全体行事の担当をさせてもらっていますが、私自身も風船バレーボール大会を楽しむことが出来ました！！ (記 相田)